

2011年 10月

# そらもよう



**\* 2011年 10月 発行 \***

発行 NPO法人 手仕事工房そら

【本部】〒321-4225 芳賀郡益子町長堤 545-1

TEL0285-81-7706 FAX0285-81-7718

【そらまめ食堂】 〒321-4325

真岡市田町 2560-4 TEL・FAX 0285-82-5550

今年の夏も猛暑が続き、やっと涼しさが・・・と思いきや台風によって至る所で大変な被害が出ています。3月の震災の傷跡も未だ癒えぬまま、こうした自然災害（人災？も含め）で本当に疲弊してしまっている日本。誰もが何とかしなくてはと頑張っているわけですが・・・。そんな中、「そら」も少しずつではありますが新たな取り組みに歩を踏み出そうと、いよいよ「食」の手仕事を始める運びとなりました。それもこれも沢山の方のご協力と励ましが支えとなり、何とお店までお借りすることが出来たのです。あまりにも早急な流れに戸惑いもあるのですが、「そら」らしくやっていければと思っています。

ちなみにお店の名前を「そらまめ食堂」といいます。そら豆（空豆）とは、さやが空に向かってつくところからの名前だそうで、希望がもてる気がしませんか？「食」を通して手仕事力を発揮し、なおかつお腹を満ちし、癒しや安らげる空間が作り出せればと考えています。皆様の英知を参考に日々精進していけるよう努力していく所存ですので、是非足をお運び頂ければと思います。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

手仕事工房そら 理事長・所長 松嶋伸一

## 10月5日…「そらまめ食堂」誕生!!

まずは、ご協力頂きました皆様に心からのお礼を申し上げます。「そらまめ食堂」は本当にたくさんの皆様の知恵と力と優しさで出来ています。どこを切っても愛情があふれだすようなお店です。

さて、事の始まりは、今年の春、保護者であり、真岡のお蕎麦屋さんでもある渡辺さんから「今年70歳になるんで蕎麦屋をたたむんだよ。そしたらそらで飲食店やらないかな？」のビックリ発言から始まりました。渡辺さんのお蕎麦屋さんと言えば、真岡の中心地にある立派な老舗です。病院が目の前で、高校もすぐそばあって、立地条件もバッチリです。そりゃ～誰だって飛び付きますよね。

…と云う事で、誰ひとり反対する者が無く、問題も無く、奇跡的な好条件でこの飲食店開業プロジェクトは始まりました。しかも、無償で協力して下さるボランティアさんまでも現れ、スタッフ全員、何の苦勞も無くオープンにこぎつけるような気がしていました。…が、壁を乗り越える事で力をつけるクセがついている私たちには、立ち向かう方向が一体何なのかわからない状態が続き、暗いトンネルの中で足元を確かめながら進んでいる状態だった気がします。それでもみんなたくましく…改修工事のほとんどを自分たちでこなしてしまいました(だってお金ないんですもん!)ペンキや漆喰の塗装から始まり、モルタルをこねた手はいつのまにか職人さんのようです。高い所が苦手なびちゃん、脚立の上に乗ってペンキ塗りをしました。ひ弱だったひろにゃんは重いガラスのショーケースを文句も言わず持ち上げました。おしゃべり好きで、ついつい話に夢中になってしまうコータくんが休憩時間返上で無言でデッキブラシを動かしていました。このお店はそんな努力と根性の結晶です。そして先に言ったように、たくさんの皆様の知恵と力と優しさが詰まっています。それですから、意地でも地域に愛される息の長いお店にします。どうか皆様よろしくお願ひいたします。(なりた)

\* 誕生の裏話は最後のページを見てね!

益子の画家、加藤靖子さん作の看板



## 【秋のそらまめ食堂 MENU】

### ランチセット

- \* 親子丼セット 800円
- \* 豚キムチ丼セット 800円
- \* 今日のカレーセット 800円

### スイーツ

- \* クレープ (イチゴ・あんこ・バナナ・しよっぱ系) 各400円
- \* あんみつ 350円
- \* クリームあんみつ 400円
- \* ぜんざい 300円

### お飲み物

- \* コーヒー 350円
- \* 和紅茶 350円
- \* ゆずソーダー・hot ゆず 300円

11月には新メニュー登場予定!!

## \* 天の織姫市 \*

6月12日の日曜日、真岡で行われた天の織姫市に出店してきました！ とちおとめを使った‘真岡乙女プリン’にどら焼きの中にいちごジャムを入れた‘そらどら’、そしてコーヒーを販売しました。初の試みで不安もありましたが、そらどらの人気は予想以上で、織姫市の終了時間を待たずして早々に完売してしまうほどでした。これはテント内の鉄板で焼いたのですが、その火加減がとても難しく、ボランティアで参加して下さったどら焼作りの名人である入江さんに最初から最後までお世話になりっぱなしでした。なかまのみんなも、焼いた生地を広げたざるを交代で持ち、「重い・・・もう無理・・・」と言いながら頑張りました（笑）

スタッフ一同さぐり状態で臨んだイベントでしたが、終了間際にはプリンも（無理やり！？）完売し大成功を収めることができました☆ 入江先生はもちろんのこと、いつの間にか巻き添いをくらった赤羽さん、そらが出店することを聞きつけて足を運んで下さったお客様、鉄板や発電機などを貸して下さった諸団体のみなさんなどなど、関わって頂いたたくさんの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。うるうる…。（たなか）

## 環境整備・流しそうめん

今年も暑い夏がやってきました。保護者の方々のご協力を得て、7月9日環境整備を行いました。畑や作業所のまわりなど、あっという間に伸びてしまった草を汗を流し、ふーふーしながら刈り、すっきりきれいになりました。

その後、保護者の小池さんとキャプテンとで竹を切って割り、流しそうめんの台や竹のつゆ入れも完成し、さあ流しそうめんの準備完了！いよいよ水と一緒にそうめんを流すと、あれれ・・・。。傾斜が少々甘かったようではじめはあまり流れず、微調整をしてやっとつると流れていきました。みんな竹の両サイドに集まり、流れてくるそうめんをじっと見つめる姿はとても涼しげでした。みかちゃん曰く、「あんまりすくえなかったけどお腹いっぱいになったよ！」。みんなでワイワイ竹を囲んでのひとときでした。

保護者の皆様ご協力ありがとうございました。（松嶋ふみこ）



## そろ、浅草に行つてキター！

去る6月10日、なかまたち念願の(?)東京観光、浅草へ行ってきました！東京に行くからにはリッチに新幹線でピューッと行きたい！！そうよ、そうだ、新幹線で行こう！！…そんな夢みtainなことを言う者もありましたが、所詮爪に火を灯す貧乏事業所、当然のんびり普通列車の旅です。それだって栃木県で暮らすなかま達は、めったに公共の交通機関を利用することは無いのですから、そりゃもう、わくわくドキドキです。おまけに、みんなの大好きなボランティアの佐藤峯子さんが参加して下さることになり、楽しさ倍増！みんなで乗る電車が想像以上にテンションが上がったのは言うまでもありません。



さて、列車は浅草駅に到着し、早速浅草寺へお参り…のはずですが、この仲見世通りはくせ者です。楽しくて美味しく、なかなか前に進めません。特に食いしん坊やアイドルファンにはたまらない通りですね。お参りした後はお待ちかねのランチ！浅草に行くのなら…と、担当職員が有名老舗に天井の予約を入れておきましたよ（やるじゃん！）「おいしいね～」と見回すと、え！！もう食べちゃったの？…おいしい！もっと味わって食べてよ～

さあ、それぞれが楽しい時間を過ごし、そうしてまた電車に乗りのおんびり帰って来ました。車内ではもう来年の話で盛り上がります。「次はどこに行こうかな～」…とにかく、一生懸命働いてお金を貯めて、また来年も旅行に行きましょね。峯子さん、一日お付き合ひありがとうございました。

\* そういえば、今回の日帰り旅行の準備を進める中、地図を睨んで「あさくさ寺はあるけど、せんそう寺がない！」と悩む職員がおりました。…(-\_-;)う～ん。

（いいのともみ\*なりたゆきこ）

＊うつくしき

## 上山サルビア会

かな。

リサイクル班では相変わらず、内装業者さんのカタログから見本をはがす仕事をしています。その中のオーダーカーテン生地見本は小さいけどとてもよいものなので、これを活かしてポシェットなどの小物を作っています（アイデアはgood!しかし、職員の根気と暇がないためになかなか進まず・・・(-\_-)）そんな私たちを大家さんである堀中さんは見逃さず、これではいかん！と田野地区の上山サルビア会の皆さんを招集して、助っ人として説得していただきました。スバラシー！！さて、ある日の昼下がり、そらに見学に行きたこの素敵なマダムたち数名がそれぞれビニールの袋にカーテン生地をゴツチャリ持ち帰っていただきました・・・そうして先日「縫ったよー」と持ってきて下さったのが、とても素敵なパッチワークのタペストリーなどなど！カントリーな雰囲気がそのアンティークな建物（…と云えば聞こえが良いが）にぴったり♡本当に素敵なのでぜひ皆さん見に行らして下さい。

上山サルビア会のみなさん、ほんとにありがとうございました。  
(松嶋ふみこ&なりちゃん)

## そらの仲間が一人加えり！

石田康夫さん。50代男性。演歌が大好き。ウォーキング大好き。真夏のウォーキングもへっちゃらな健脚ぶりで、今のところ仲間の中で石田さんの右に出る者はいないでしょう。また、演歌を歌うとなかなかの美声だそうです。（職員の中で唯一石田さんの歌声を耳で聞いた成田さん談「そうそう、お座敷小唄が最高！よく二人で歌うんですよ…(-\_-)」

そして石田さんを紹介する上で忘れてはいけないのは、赤とショッキングピンクがとても似合う、なかなかのオシャレさんだということです。男性で赤系の似合う人はそういないですよ。更にもう1つ。マッサージの腕前がプロ級だということ。休憩時間に私や成田さんが疲れた顔をしていると、スーと後ろに来て肩を揉んでくれるんです。なんてやさしいのでしょうか♡

これで石田さんの人となりがわかって頂けたと思います。みなさん仲良くして下さいね。  
(かとうさなえ)

## 「そら」の応援団メッセージ その2

＊毎月「手仕事工房そら」がお世話になっているボランティアさんや、業者さんからのメッセージを掲載します。

～今月はウッツ三千代先生です。ウッツ先生はみんなのダンスの先生です。今までに嵐のナンバー2曲にオリジナルの振り付け（超カッコイイ！）をしてくださり、ダンス指導をしてくれます。毎朝作業開始前にはひと踊りをして汗を流しています。

### - 音楽とダンスと笑顔と -

ある朝のひとこま。

「おはようございまーす」(私)

ハイファイブをしてくれるAくん、Bちゃん。ニヤニヤしているCくん。いたって平常心のDくん。ウロウロ落ち着きのないEくん。

でも、嵐の歌が流れると・・・一番ノリノリなのはこのEくん！（ヤッター！←私の心）平常心のDくんも、時々ニヤリ（ヤッター！）自分なりにアレンジ(?)して踊っているAくん（オモシロイ！）BくんもCちゃんも、みんなみんなスゴイ！スゴイ！！

音楽っていいね、体を動かすのって楽しいね。みんなの笑顔が大好きです。

これからもよろしくね。

ウッツ三千代



＊おとなりの美少女はウッツ先生の娘さんです。可愛いっ！！

## ＊たくさんのありがとう＊

「そら」がスタートして早や半年…お金がないんだからできる限り我慢しよう！とか、業者さんに頼まないでじぶんたちでやっちゃおう！とか、行政のチカラなんて当てにしないわ！なんて偉そうなことを口にしていますが、実は間違いもはなはだしく、振り返ればびっくりするほどたくさんの方々には厄介になり、ご迷惑をかけて活動しています。

みんなが気持ちよく作業出来るようにと猛暑が来る前に扇風機を届けてくれた佐藤様。以前、ご自分の事業で使われていた業務用のクーラーを寄付してくれた福田様。そらまめ食堂の改装工事に尽力して頂いた星野様、菊地様、田辺様。そして、桜井様、樋下田様、ウッツ三千代様、小滝様。いつもご協力下さる保護者会の皆様。ありがとうございます。心から感謝しています。

## 一農耕班一

とっても暑い夏の間、暑さにも負けず毎日毎日畑に水をあげに行き、とっても美味しいナス（少し虫に食べられましたけど・・・）ととっても辛いしとう（・・・のはず）をたくさん収穫することができました！新メンバーに菊地君が加わり今日も元気に水をあげに行く畑仕事従事隊のみんなです。

金曜日の給食の時などにとっても美味しいナス料理に変身してくれるそら産ナスはなかまのみんなにも大好評です（^人^）ふだん野菜をあまり食べないなかまもぺろりと食べてしまいます。

「畑のお仕事楽しい！」と日々頑張っている畑仕事従事隊のなかま。へとへとになりながらじょうろを運ぶ N 君も収穫するときはとても楽しそうです☆「蚊が多くて困る(>△<)」という M さんの言葉どおり、蚊との厳しい戦いを乗り越えてそろそろサトイモの収穫が待ち遠しい季節になりました。

まだまだ畑仕事従事隊の活動は続きます。最後に新メンバー菊地くんからひとこと。

「がんばろうー！！」（たなちひろ）



## 健康診断

Hさんのうでから採血される場面がとても感激的で今も脳裏から離れずにいます。あの凛とした看護師さんがいなかったら、採血できなかったと健康診断に長年付き添う者の感想です。Hさんの前に採血していたNさんは腕に採血針が刺さっている間ずっと泣きべそ状態。それを横目にしながら、Hさんは血圧計測。「あー参ったなあ～。恐怖心を増長させられるわ。」と、私でさえ感じるのですから…。この時点で採血成功確率は1%ないと心の奥によぎったのですが、Hさんにそれを察知されてはならずと強気に次の採血に挑みました。看護師さんはHさんをみるなり「横になってやりましょうね。」とHさんを寝かせてその後はテキパキとこれからやることの説明を準備しながら進めていきました。近くにいたさなえさんに「とにかく見守りましょう。針を刺す時だけ気をつけて必要ならば押さえましょう。」と瞬間の打ち合わせ。針を刺した一瞬、一声あげただけであとはゆったりと横になっていました。一番立派に採血できという結果となりました。（たむらのりこ）



解説いたします。  
利用者の健康診断が、去る8月27日、真岡市の鬼怒ヶ丘クリニックにて実施されたのでした。



加藤麻里さんからのプレゼント！

### 連載[そらまめ食堂番外編\*誕生の裏話]その1

**その1** ショーウインドウの中にあつた巨大な陶器のカエルの置物を「ピンクに塗っちゃおう！」とこっそり相談し、ペンキまで用意したんだけど、一応持ち主のお父ちゃんに断ってからにしようと思つていたら、「だめ！とんでもない！」と取り上げられてしまいました。(；\_；)そのかわり、ためぎの置き物をオレンジに塗っちゃいました～！

**その2** 客席の天井近く、せり出した時代劇調の飾りの瓦屋根、こいつがどうもカフェレストランの雰囲気を壊している…と思つて始めるとどうにもこうにも取りたくてたまらず、とうとうパールを片手に脚立に乗り、一日かけてぶっ壊してしまいました。翌朝のお母ちゃんの顔が忘れられません。

**その3** 客席の洗面ボールはイタリア製の一式4万円もする最高級品（うちにしたら）です。実はこれは、設備屋さんがあるぎりぎり直前まで迷い、お店で1時間悩み、スタッフに写メを送り、胃が痛くなり、フラフラの気持ちで買ってきた…贅沢は敵の「手仕事工房そら」のモットーに反する反則品です。所長ごめんさい！

**その5** 「カフェレストランに畳は許せない！」ともはや病氣としか言いようのないこだわり方に根負けした「そらまめのドラえもん」こと星野さんが渋谷ネットで調べて、客席の一部をフローリングにしてみました！

\*登場人物…「お父ちゃん」…そらまめの大家さんの渡辺正さん。「お母ちゃん」…その奥さん。「ドラえもん」…ボランティアさん